

[ふくだいプレス]

fukudai PRESS



特集

「ふくプレ」のこれまでとこれから

学生広報スタッフ企画 We Love♥福大 福大口マン 今昔のカタチ

Vol. 30
2017
JULY



これまでとこれから

通算30号を迎えました。
皆さん、ありがとうございます！
までをちょっとだけ振り返ります。
エールをもらいました。

よろしくお願いいたします！



CONTENTS

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 2 特集「ふくブレ」のこれまでとこれから | 16 IT'S MY CIRCLE |
| 6 学長メッセージ | 18 未来設計ノート |
| 7 Dear Fukudai (新企画) | 20 We Love 福大 |
| 8 go go Language Center | 22 学びのバトン |
| 10 研究者紹介 | 23 福井大学基金 |
| 14 FACE | 「特別栄誉学友」「栄誉学友」「寄附者」ご芳名 |



祝30号!「ふくプレ」の

「ふくだいプレス」は、ついに
これまで取材にご協力いただいた
特別企画として、「ふくプレ」のこれ
学生のみなさんには、アツい

これからもご愛読のほど、

30

「ふくプレ」のこれまでとこれから



眞弓光文学長が
「やり遂げる
タフな心」と
学生を激励

- ・ 新入生歓迎イベント
「学コン」を初開催
- ・ 海外留学プログラムの紹介

Vol. 13
2013.4



「It's My Circle」スタート

- ・ アルバート・レーナー
語学センター長の
メッセージを掲載
- ・ 入学式で杉山愛ト
クショーを開催

Vol. 10
2012.7



「福大生ナウ(現・福大VOICE)」スタート
「敦賀キャンパスを徹底説明」企画

Vol. 12
2013.1

- ・ 「福大生の就活ノート」開始
- ・ 医学系研究科、工学研究科の組織再編を告知
- ・ 文京Cのボイラー室が多目的ホールにリノベーション



わたしの
10年後

「わたしの10年後」
「福井大学の10年後」を特集

Vol. 9
2012.4



本学学生2人が代表入りした
カヌーボロ日本代表
アジア大会で優勝

Vol. 8
2012.1

- ・ 「学生による学生ののための講演会」第1弾開催
- ・ 総合図書館ラーニングアドバイザー(LA)活動中
- ・ 松岡Cに生協売店「SHOP PLUM」がオープン

これからも、学生みなさんのパワーを

Interview

答えて！
インタビュー

福大VOICE 30号スペシャル

今回は「ふくプレ」で取り上げてほしいテーマ
「30号を祝いたい！」という人からは、
あたたかいメッセージをいただきました！



医)医学科2年
道場生基

医)医学科2年
竹内舞

医)医学科2年
石川貫之



教)学校教育課程1年
橋本明歩

教)学校教育課程1年
藤川祐輔



工)物理工学科3年
林哉汰

工)物理工学科3年
大久保和隼

工)物理工学科3年
竹内宏樹



医)医学科1年
明瀬有葵

医)医学科1年
松浦美希

Vol. 19
2014.10

- ・特集「いち押し!私の愛読書」
学長もオスメの本を紹介
- ・附属特別支援学校の増築・改修工完了

Vol. 21
2015.4

- ・「地(知)の拠点フォーラム」第1回開催
- ・座談会「探求ネットワーク」開始から20年

Vol. 23
2015.10

- ・「教職大学院ってどんなところ?」
大学院を初めて紹介

Vol. 20
2015.1

- ・特集「見せます!私の卒業論文」

Vol. 22
2015.7

- ・「go go global」スタート
- ・行われなかった卒業式を開催



グローバル企画が初登場

- ・福井大学基金ご芳名掲載開始

Vol. 18
2014.7

春号恒例の新入生歓迎企画
「サークル!サークル!
サークル!」スタート

Vol. 17
2014.4



- ・広報センターのHPがリニューアル
- ・六呂師山荘閉鎖のお知らせ

- ・初代語学センタースチュー
デント・アシスタント(SA)が
表紙に登場
- ・「たわら屋」開設10周年
- ・平成25年度文部科学省
「地(知)の拠点事業」採択

Vol. 15
2013.10

医学部ラグビー部が「関西医歯薬
ラグビー大会」で初の3位入賞



- ・初のオールメンズによる表紙撮影(医学部)
- ・総合図書館2階に言語能力開発センター
(LDC) オープン

Vol. 14
2013.7

「福大生の恋愛データ」が話題に

Vol. 16
2014.1



- ・「学生による学生のための講演会」医学部で初開催

「ふくプレ」でみせてください！

工)機械・システム
工学科1年
三澤雅士



これからも
頑張ってください！

30号
おめでとう！

工)機械・システム
工学科1年
清川佳大

ふくプレ
最高！

楽しみに
しています。

いつも
読んでます！



医)医学科3年
岸本直樹

医)医学科3年
佐藤諒

医)医学科3年
松川力

これからも
面白い記事を
期待しています。

文化系
マイナー部活に
スポットライトを!!

近所の
グルメを!!



医)医学科2年
中川元

医)医学科2年
青木模奈美

医)医学科2年
水嶋崇臣

イチジクの
おいしい食べ方
について

探求
ネットワーク
について

30号
おめでとう
ございます！



教)学校教育課程2年
田中里奈

教)学校教育課程2年
明珍美佐

教)学校教育課程2年
高山朗子



これを機会に
ふくだいプレスの
バックナンバーを
チェック！

Vol.29
2017.4

・「サークル!サークル!サークル!」
特集が6Pに拡大

Vol.28
2017.1

・学長特別座談会「福井大学が
進める高大接続と教育改革」

Vol.27
2016.10

初の県外
(石川県輪島市の
白米千枚田)での
表紙撮影

・座談会「国際地域学部 新しい伝
統は私たちがつくる!」
・「学びの絆」に福井商業高校
「JETS」の五十嵐裕子教諭登場



「福大生の就活ノート」から
進学も取り上げる
「未来設計ノート」へ

・表紙タイトルロゴリニューアル
・Aossalに大学連携センターデスクエアがオープン

Vol.26
2016.7

研究者紹介に
国際地域学部が初登場

・4学部長座談会を実施
・ノーベル物理学賞を受賞した
天野浩名古屋大学教授の講演
会を開催

Vol.25
2016.4



2016年4月の
国際地域学部の新設、
工学部の改組を紹介

Vol.24
2016.1



激動の時代を 主体的に生きるために

学長 眞弓 光文

来たるべき社会を
担える力を
身につけてください

今、第4次産業革命と呼ばれる社会の大きな変化が急速に進行しています。人工知能やロボットなどの技術開発の革新や、多くの「物」がインターネットで結ばれ（IoT）、その情報を含む膨大なデータ（ビッグデータ）の活用により、社会は今後20年もすればこれまでに類を見ないほど、劇的に変化すると考えられています。60年以上前に漫画「鉄腕アトム」で見たシーンが現実となる時がようやく来しました。

一方、世界中で必然の流れと考えられてきた社会のグローバル化ですが、貧富の格差の拡大という負の側面が現時点では解消されておらず、その結果、移民や難民の流入拡大を恐れる人達の思いが英国ではEU脱退、米国ではトランプ大統領誕生として表出しました。EU離脱は英国経済に深刻な打撃を与えると懸念されており、その影響は世界に

も波及する危険性があります。トランプ大統領の言う「アメリカ第一主義」は、これまで世界のリーダーであった米国の力を結果として削ぐことに繋がりがねず、米国一強体制が揺らげば、世界は多大な影響を受けるでしょう。北朝鮮はもちろん、中国やロシアの動き、中東諸国の動き等も、世界に大きな影響を与えるでしょう。

国内に目を向けると、少子高齢化、人口減少、地方の過疎化等、持続可能な豊かな社会を創る上での重大な障碍が横たわっています。今後、内需の拡大による経済発展や、均衡のとれた国土の発展は一層困難になるでしょう。

このような時代を生きる学生の皆さんは、来たるべき社会の中心を担える力を身につけねばなりません。当然、それぞれの分野の高度な専門知識や技術が求められます。同時に、社会を良い方向に導く動きを支持し、良くない方向に進めようとする動きにノーという、教養や規範が重要です。皆さんは歴史に学び、友人と議論し、世界の様々な国の人と交わって、これからの激動の時代を主体的に生き抜くことができる優れた人間力を身に付けてください。素晴らしい未来は皆さんの努力の先にあります。



Dear Fukudai



「地(知)の拠点」としての顔も持つ福井大学。学外の人には大学・学生の姿がどのように映っているのでしょうか？

ご意見やお便りをいただきます。初回は田原町デザイン会議代表の

森川けい子さんにお話を伺いました。

post card

ここでの活動を通してどんどん積極的になっていく学生さんを何度も見てきました。結婚して子連れで遊びに来てくれるOB・OGもいます。いつでも帰りできる「第2のふるさと」なんでしょうね。学生さんの顔はみんな分かるから、どこで会っても「元気？」と挨拶を交わします。これが活力の源なんです。スマホではなく、人と会話が出来る人になってほしいですね(笑)。ここを拠点に、人と人とのつながりが生まれています。「もりみちプロジェクト」「雑木林(ざつぼくりん)」などは、まさにそう。夏祭り恒例の「底喰川の川下り」は、福大生の協力なくしては実現できません。

大学・下宿・バイトのトライアングルだけでなく、もっとも外に出てく
ださい。学部や研究室、専攻に関係なく、地元と関わる学生がどん
どん増えてほしいですね。

学生さんは、もっともっと
地域に出てください！



福井大学 様



田原町デザイン会議代表
森川けい子



みなさんすごく優しく、いろいろな相談にも乗ってくれます。学内では同世代との「横」のつながりだけですが、ここなら3歳から90歳まで、幅広い年代の人と交流できます。いろいろな会話を通して、「リアルな人生勉強」をさせてもらっています。大学での学びをすぐに実践できるので、とてもありがたい場所です。これからも、地域の人と良好な信頼関係を築いて、いろいろ試していきたいと思います。

大学院工学研究科博士前期課程
建築建設工学専攻1年
鹿内愛軌



◆ 田原町デザイン会議

2005年設立のまちづくり団体。田原町駅跡切近くのたわら屋(田原町商店街と福井大学の共同運営)にスタッフと学生が常駐し、地域の高齢者、子どもたちとの交流や「水曜ランチ」(500円)などの活動を行っています。

住所 | 福井市文京3-4-11
電話 | 0776-21-5422(事務局)



年4回発行する
『田原町新聞』



go go Language Center

学生によるグローバル体験企画！今回は、文京CのGlobal Hubと言語開発センター(LDC)で、3人の学生がチャレンジ企画を実施。短い期間で、大きな変化があるかも！？

Day 5 リズムに慣れてくる！



5日目にもなると、音声を聴いていても自然と音を追いかける癖がつき、少々早くてもついていけるようになりました。英語のリズムに慣れてきた感じがします！

Day 1 正答率 68%

リスニング診断テスト		
正解数	24問/35問中	勝山 東慈 様
Part 1	5問/5問中	リスニングのレベル
Part 2	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 3	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 4	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 5	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 6	3問/3問中	リスニングのレベル

まったくリスニングができないわけではないですが、少し早くなったり長い文を聞き取るとなると、しばしば追いつけなくなることも…。案の定、診断テストでは正答率7割程度でした…。

challenge
10
日間

LDCでリスニング特訓！

START

けん玉はプロ級！
ではリスニングの
ほどは…。



国)国際地域学科1年
勝山東慈

Day 10 正答率 80%

リスニング診断テスト		
正解数	28問/35問中	勝山 東慈 様
Part 1	5問/5問中	リスニングのレベル
Part 2	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 3	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 4	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 5	3問/3問中	リスニングのレベル
Part 6	3問/3問中	リスニングのレベル

10日間で12%アップ！リスニングにはあまり自信がなかったのですが、10日間のトレーニングで苦手意識がなくなりました。やった！

TOEFLのリスニングでも正答数が増えてきて、自信につながりました。診断テストのレベルが上がってうれしいです。



ココが
変わった！

- ★ 聴き取りに使う労力が減った
- ★ 聴き取るのに若干の余裕ができたため、その分予測などが少しできるようになった
- ★ 弱く発音される単語なども聴き取れるようになった

Day 7 イースターのイベントに参加



みんなとさらに仲良くなれて、顔も覚えてもらい始めた！！

Day 1 留学生と将棋



Global Hubにいる留学生みんな、日本語上手すぎる！！

challenge
10
日間

Global Hubに通う！

START

奈良県出身、
血液型A型。
英語は苦手…。



国)国際地域学科1年
福井理文



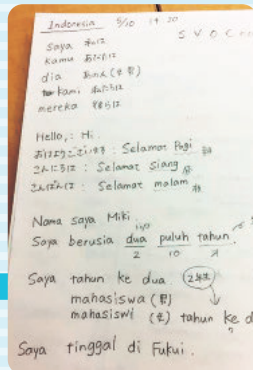


Day 3 時制を勉強



インドネシア語の時制を習いました!基本的に英語のように過去形や未来形はなく、「昨日」や「明日」という言葉を入れて時制を表すそう。

Day 1 自己紹介



インドネシア語の挨拶と自己紹介の仕方を教えてもらいました!習う言葉がすべて初めてのなので、新鮮だけど、覚えられるか不安...



インドネシア語にチャレンジ!

ワタシが
レクチャー
します!

START



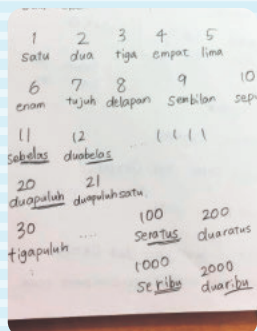
教) 特別聴講学生1年
プトラ・バハギア

インドネシア語に
初挑戦!新しいコ
トバを覚えられ
たらいいなあ~



教) 地域科学課程3年
斉藤実希

Day 5 数字を習得!



数字の言い方を習得!日本語とも英語ともまったく違う言い方に困惑しましたが、大きな数までなんとか言えるようになりました。



インドネシア語を5日間一緒に勉強しました。勉強することが楽しかったです。でも、時間がうまく合わず、毎日勉強できませんでした。ありがとうございます。

まったく知らない言語を勉強するのは大変だったけど、1日1日使える言葉が増えていくことを実感しながら勉強することは楽しいなと思いました!

ココが
変わった!

- ★ インドネシア語の発音を習得
- ★ ほんの少しだけ文法がわかった!
- ★ コミュニケーションツールとしての英語が重要

イースター、盛り上がりました!

5月にEASTER DAYが開催されました!少し遅めのイースターを祝うイベントで、参加者の皆さんが卵の殻に、好きな絵を書きました。みんなのセンスが光っていて、十人十色の作品ができました! Global Hubに飾ってありますよ☆



この他、不定期に開催するイベントもあります。詳しくは、
語学センター [f @ufcscs](#) もしくは [t @LDC_HUB_UofF](#) でチェック!

ココが
変わった!

- ★ 知り合いが増えた!
- ★ 大学内での楽しい時間が増えた!
- ★ イベントへの積極性がついた!

Day 10

出会いも増えて、楽しい!

外国語の授業をとったときに、その国の留学生がいれば教えてもらえます。これからもっと多くの人たちと仲良くなりたい!





教室のデータを集め よりよい教育を追究する

現場に寄り添う 教育心理学

「教師の授業がマンネリ化している」。色々なところでよく耳にする言葉ですが、本当のことでしょうか。

教育心理学は、心理学的アプローチを用いて教育の諸問題に取り組んでいく学問で、発達や学習、認知、記憶など、カバーする領域は多岐にわたります。私は、教育現場における様々な実践を研究対象に、実際のデータに基づきながら教育実践の特徴を明らかにしていく研究を行っています。特にこれまでは学校場面の教師の授業実践を対象にしてきました。

授業中の発話から マンネリ化を疑う

小学校1年生から6年生まで12クラス1週間の授業を対象に、教師が児童に話



岸 俊行 准教授（教育心理学）
Toshiyuki Kishi

しかけた発話に注目しました。授業内の全発話を、「発問発話」や「復唱発話」などのカテゴリーに分類し、各日の相関を調べました。相関係数は1に近づくほど強い関連があり、0に近づくほど関係が認められないことを表す数値です。教師発話の相関はどの教師の授業においても0.8～0.9と非常に強い相関が認められました。このことは、教師の発話が、毎日、同じカテゴリー割合で現れていることを示しています。例えば質問が多い教師であれば、どの授業でも質問が多く、説明が多い教師は、いつも説明が多いということです。

同様の分析を児童の授業内発話に対して行うと、クラスによって、0.08～0.09と非常に幅広い値をとっていることが明らかになりました。子どもの発話は毎日変化しているのです。同じクラス

の教師と児童の発話をみても、子どもの発話は多様性に満ちている一方で、教師の発話は1日目も5日目も全く同じ発話傾向であると言えます。この結果から、教師の授業内発話はある程度、固定化している、別の表現をすれば、教師の授業はマンネリ化しているということをデータから明らかにできたといえます。

【教師発話】					【児童発話】				
1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
1日目					1日目				
2日目	.99**				2日目	.88*			
3日目	.98**	.98**			3日目	.92**	.74*		
4日目	.99**	.98**	.99**		4日目	.63	.66	.76*	
5日目	.97**	.97**	.99**	.99**	5日目	.08	.23	.35	.49

注) **: p<.01

注) **: p<.01, *: p<.05

あるクラスの教師、児童の1週間の発話の相関

データから より良い教育の実現へ

今後は、授業内の行動のデータを収集し、教師の「教授活動データベース」を作りたいと考えています。データを基に、例えば、名人といわれる教師の授業

ハマっていること★

姉として振る舞うようになった9歳の長女と、できることが少しずつ増えていく1歳の次女の、日々の成長を感じるのが楽しみです。



現在進めている子どもの虐待事例を分類する研究。
内容別にカテゴリー化している

は他と何が違うのか、また、学級崩壊を起こしてしまう教師にはどういう特徴があるのかなど、教師の教授行動、いわゆる「暗黙知」とされている部分を明らかにしていきたいと思っています。そうすることで、教師自身が自らの教育実践を振り返り、よりよい教育を実現できた、と考えています。



知られざる細胞に光を当て 生命の神秘に迫る

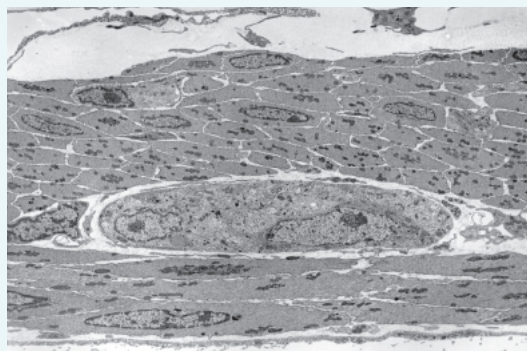
「その他大勢」に光を当てる

動物の消化管には、消化吸収という機能と食物を運んでいく機能がありますが、私の研究テーマは、消化管が筋肉を収縮させて内容を輸送していく「蠕動（ぜんどう）運動」のメカニズムを細胞や分子のレベルで解明することです。

消化管の運動メカニズムで、主に注目されてきたのは、筋肉と自律神経の働きでした。しかし近年、観察技術の進歩で、筋肉細胞や神経細胞以外にも様々な細胞があることがわかり、それら「その他の細胞」も重要な機能を持っていることが徐々にわかってきました。「その他の細胞」は、筋肉細胞や神経細胞といった「実質細胞」の「間」で、それらをつなぎ合わせる存在という意味で「間質細胞」と呼ばれています。間

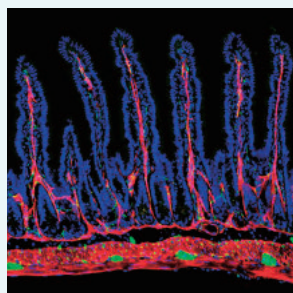


飯野 哲 教授（解剖学）
Satoshi Iino

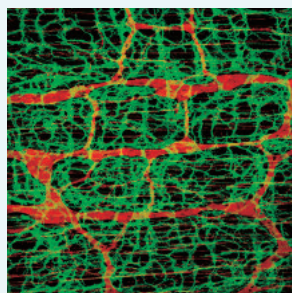


マウス小腸の筋層（電子顕微鏡写真）

質細胞は最近まで、何の働きをしているのかからず、「つなぎ」程度のものと考えられてきたのですが、そうではないらしい。「カハール介在細胞」もそんな間質細胞の一つです。



マウス小腸の顕微鏡写真
（消化管神経：緑、平滑筋：赤、細胞核：青）



マウス小腸筋層に広がるカハール介在細胞（緑）と消化管神経（赤）

その細胞の役目は？

S・R・カハールは、神経細胞の研究で1906年にノーベル医学生理学賞を受賞したスペインの医学者で、この人によって発見されたのがカハール介在細胞です。

発見当時は、何の役目をしているのかわ明でしたが、最近では消化管運動の「ペースメーカー」の役割をしていることが明らかになってきました。蠕動運動の「エンジン」が筋肉だとすれば、神経は「スイッチ」。カハール介在細胞は、エンジンをアイドリング状態に保ち、神経と相互に作用し合いながら筋肉にスイッチを入れる——そんな働きをしているのです。この細胞の働きが

不調になると、過敏性腸症候群のような症状を引き起こします。

生命の奥深さに触れる

私の研究は、カハール介在細胞が消化管のどこにどんな構造で配列されて、筋肉や神経とどのように相互作用を果たしているのか。それを、電子顕微鏡などを使って「目で見ながら」形態学的に明らかにしていこうというものです。この細胞は、腸炎などにかかると明らかに減少します。だから、治療の道を拓くためにも、その発生メカニズムも解明していきたいと思っています。

知られざる細胞に光を当てその機能を深く探る——。「神は細部に宿る」ではありませんが、生命の奥深さ、その神秘を解明していく、そんな研究だと思っています。

今ハマっていること★



カタツムリを飼育しています。普段は眠っているように見えても、水で濡らせると顔を出し、エサを与えると食べに来て、しっかりと生きている。小さな生物に宿る生命を感じます。

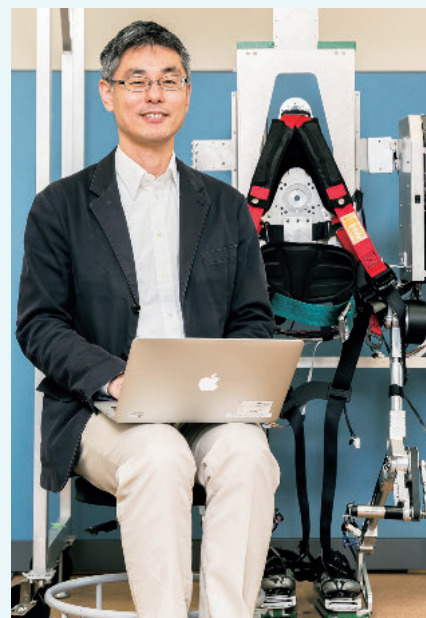


できたらいいな!を創る ロボティクス

きっかけは近未来のアニメ

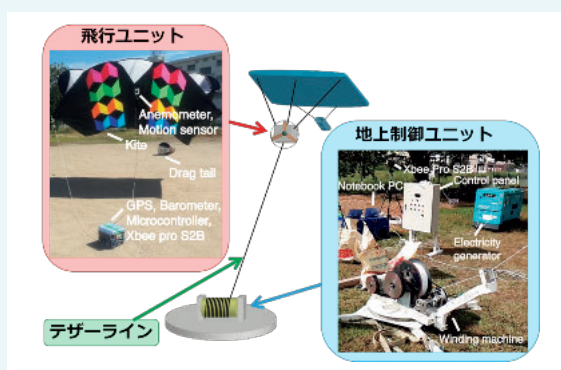
「機動警察パトレイバー」というアニメを知っていますか?このアニメは、1980年代に放映され、ロボット工学が発展した近未来が舞台。工事現場や工場など社会インフラを支える現場で活躍するはずのロボットが事故や犯罪を起こし、それを取り締まる警視庁のロボットが活躍します。このアニメをきっかけにロボットに興味を持ち、研究室を選びました。人が操縦するのではなく、ロボットが自ら行動を学習していくためのシステムをどう構築したら良いのか、私自身が試行錯誤する日々でした。

現在のテーマは「インタラクティブ・ロボティクス」。人や環境と相互作用しながら、共生するロボットの実現で



高橋 泰岳 准教授 (知能ロボティクス)
Yasutake Takahashi

す。従来のようにプログラム通りに動くだけのシステムではなく、環境に合わせて学習し、行動できるシステムづくりが鍵となります。



高空風力発電ロボットの仕組み

風を読む 高空風力発電ロボット

新しいアプリケーションとして着目したのは、高空風力発電です。地上や洋上の風力発電は非常に大型で、地上の安定しない風では稼働率が下がります。そこで私たちは、より安定した強い風が期待できる上空を飛行しながら発電するロボットを考えました。

ロボットそのものが飛行することで電力を消費してしまつては意味がないので、「カイト」を応用した「高空風力発電システム」を開発しています。テザーと呼ばれるラインを地上から80メートルほど延ばし、幅4.5メートル、長さ2.1メートルのカイトで風車を持ち上げ、その回転を、別のデザーを紹介して地上の発電機に伝え、発電するシステムです。

カイトを空に揚げるために、GPSや高度計、風速計をつけてデータ収集を行いました。データーを基に、風速が強いときにはカイトのデザーを地上で巻き取る力を弱め、カイトを上空に引き揚げ、風速が弱いときには巻き取ることで高度を維持するシステムを構築し、カイトを自律して飛ばすことに成功しました。

このほか、ロボットが相手の情動を読み取ったり、動きをまねしたり、さらに情動表現したときに人にどのような影響を与えるかを調べています。

ハマっていること★



20年以上乗っていたクロスバイクが壊れたので、最近折りたたみ自転車を買いました。色と形と性能が気に入っています。



空高く揚がるカイト

ロボットは、「こうなったらいいな!」という想像力を働かせ、システムづくりを積み重ねる楽しさが尽きることはない分野です。まずは、未来の私の相手になり、介護してくれるロボット、その開発を急ぎたいですね。

考古学で織物の歴史に迫る

物言わぬ考古資料

考古学は、土の中を発掘し、そこから出てきた古代の「遺物」から、当時の人がどのような生活をしていたかを復元する歴史学のひとつです。私は主に古代・中世の遺跡から発掘された織物や、織物を作る道具の研究をしています。

織物や木製の道具は、石器や土器に比べて土の中で腐りやすく、原形をとどめまま発掘されることが少ないため、あまり研究が進んでいません。史料によれば、織物は身にまとうだけではなく、「和同開珎」などの貨幣が流通するまでその代わりとなる大事なものでした。奈良時代の「租庸調」制では、絹や麻の織物が税として納められ、官人への給料の支払いも織物でした。そ



東村 純子 講師（考古学、博物館学）
Junko Higashimura



ベトナム少数民族カトゥーの手織物。赤いビーズが一つ一つ織り込まれています

れを市場で物々交換するなど、織物の役割は大きかったのです。ただし、発掘された遺物は、文字で書かれた史料とは異なり、何も語ってくれません。実際には織物がどのような技術でつく

られたのか、考古学からその歴史の事実を迫ることに魅力を感じるのです。

織物の技術を復元する

日本では弥生時代に稲作とともに機（はた）織り技術が大陸から伝わってきました。弥生時代の機織り具を復元するにあたり、台湾や東南アジアの先住民族が今も使う機織り具とよく似ていると推測し、現地です実際に使い方を聞きしました。

これまで弥生時代の織り機は、直線状に並んだ経（たて）糸に緯（よこ）糸を通して織り上げていくものと考えられていましたが、さまざまな遺物の分析から、経糸を輪の状態にして織る「輪状式」に復元できることがわかりました。足と腰の間に経糸を張って織るため、織り上がる布の長さや幅は限られますが、この布2枚で当時の人が着ていた「貫頭衣」を作ることができました。

最近、栃木県の甲塚古墳という首長墳から、機織りをする女性の埴輪が新たに発見され、布の織り手が女性であったこともわかってきました。このような当時の社会・経済活動に連なる織物生産にたずさわっていた女性の働きにも注目しています。

国内では考古学の分野で織物を研究している人は少なく、海外の研究者とも広く交流しながら、研究を深めたいと考えています。一方で、勝山市で今も

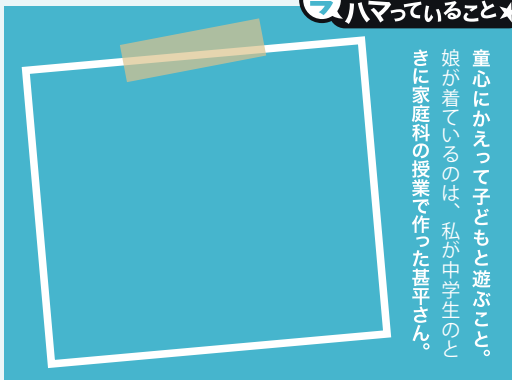
なお、麻の糸作りから布を織る技術が伝承されています。織物の産地である福井から、古代に遡る機織り技術の保存や復元に自分の研究が寄与できればと願っています。



復元した輪状式の機織り具

ハマっていること★

童心にかえって子どもと遊ぶこと。娘が着ているのは、私が中学生のときに家庭科の授業で作った甚平さん。



ちゅんちゅんな「福井のものづくり」をPR



教育地域科学部
地域科学課程4年
木村研究室

教育地域科学部*地域科学課程の公共政策系、木村亮教授の研究室でまちづくりを学ぶ福井県出身の学生8名が、「福井のものづくり」の魅力をPRする冊子を制作しました。

福井駅西口再開発ビル「ハピリン」で目にした、福井の伝統的な産業を現代風にアレンジした品々に魅了され、「福井のものづくり」をゼミの3年次の研究テーマに決めました。越前和紙を使ったLED照明、眼鏡の素材を用いたアクセサリなどを制作販売している県内8つの企業を訪問し、職人や制作者にインタビュー。冊子には、商品の特徴、業界の今後の展望、自分たちが製品を使用した感想を盛り込み、3月に配布しました。

デザインやレイアウトも自分たちで考え、若い世代の目に留まるように、スタイリッシュさに気を配りました。タイトルは、福井弁で「熱

い」を意味する「Chunchum (ちゅんちゅん)」。

これまでのイメージを払しょくするような新しい製品を作っている、長年培ってきた技術を一番大切に思っているのは、皆同じ。そんな、福井のものづくりにかかわる人の熱い思いを表現しました。学生らは「若い人に、福井に誇りを持って欲しい。福井には『何もない』なんてことはないです」「伝統工芸の技術が生み出すモノの新しさと、引き継がれてきた伝統技術をもっと知って欲しい」と冊子に込めた思いを話しました。

冊子は、アオッサのFスクエアやハピリンなどで配布しています。(以下のQRコードからもダウンロードできます)



実際に使ってみたモノと冊子
「Chunchum (ちゅんちゅん)」

※教育地域科学部は平成28年度に教育学部、国際地域学部へ改組しましたが、平成27年以前に教育地域科学部に入学した学生は現在も旧学部にも所属しています。



福大のエースに
クローズアップ!

石川県相撲選手権大会で優勝!!



医学部医学科3年
木下 智貴さん

「大相撲で活躍している輝関は、中学時代の先輩。当時から圧倒的に大きくて強かった。こういう人がプロになるんだな、と。あの人を見て、大相撲への道をあきらめました」

長野県生まれの木下さんは保育園の頃から相撲を始め、小学生の時には全国レベルの選手に成長。強豪校で知られる西南部中学校(金沢市)に入学すると、寮生活をしながら相撲に打ち込みます。キャプテンを務め、全国大会でチームを団体準優勝に導き、自身も優秀な成績を修めました。

「当時は遠藤関に稽古をつけてもらったこともありますし、御嶽海関は小学校時代の先輩。相撲はいつも身近にあって、大相撲にも憧れていました」。しかし体は125kg、175cm止まり。スカウトもされましたが、プロへの道を断念し、進学を選びました。入学したのが、進学校の金沢大学附属高校。そして、福井大学医学部に進み、医師への道を志しまし

た。大学に入った後も、金沢の道場で子どもたちの指導をしながら自らも稽古を続け、昨年は社会人として出場した石川県相撲選手権大会の85kg未満級でみごと優勝を果たしました。

「将来のことはまだわかりませんが、研究の道を歩むのなら海外にも行ってみたいし、ずっと身体を使ってきたので整形外科医にも興味があります」。これからも後輩を指導しながら、相撲を続けていきたいという木下さん。相撲を通じて広がる子どもたちやその家族などとの出会いの中で「人々が医学・医療に何を求めているのかを教えられる」とも話します。

相撲の道と医学の道——文武両道への挑戦が続きます。



子どもたちの稽古風景

「ロボカップジャパンオープン2017」ロボット学会賞を受賞

工学部
学生チームIRUF

福井大学の学生有志チーム「IRUF (Interactive Robotics University of Fukui)」が5月4日～7日に愛知県立大学で開催された「ロボカップジャパンオープン2017」に参加しました。「NAO」というプログラミング型のロボットで、グラウンドの環境を認識し、ボールの動きをとらえて、蹴るというサッカーの基本動作のプログラミング技術で競う、サッカー種目「Standard Platform League」に出場しました。通常、フォワード4体、キーパー1体のNAOが必要になりますが、1体120万円もする高価なロボットのため、本学はフォワード2体で出場。NAOは競技中に転倒することが多いので、すぐに立ち上がるようにプログラミングしていますが、前日の練習試合で1体が転倒して腕が折れ、フォワード1体、キーパー1体で大会に出場することになりました。

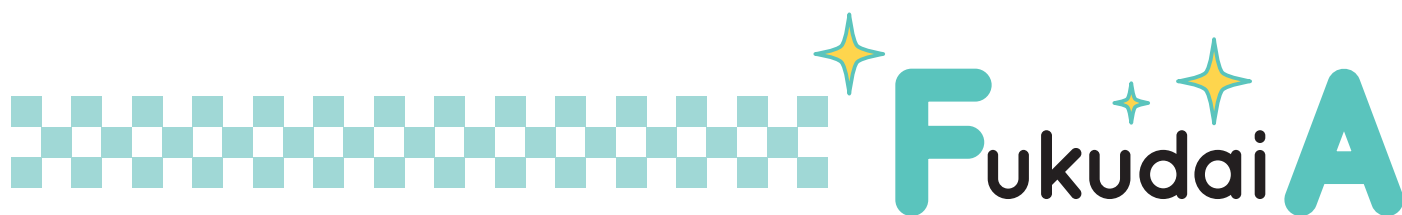
第1試合は大阪大学と対戦。相手チームの守りが固く攻めきれず、

0-3であえなく敗戦。つづく、2試合目は愛知県立大学と対戦、試合開始から9分のところで相手のNAOに不具合が起き、3体と2体での対戦に。相手に先制を許したものの本学の1体が果敢に攻め続け、ゴール!この試合は1-1で引き分けに持ち込みました。2014年から参加してから「IRUF」の初得点です。

次のトーナメントに進むことはできませんでしたが、ロボットの数のハンデをものともしない戦いぶりが評価され、「ロボット学会賞」を受賞しました。チームリーダーの大学院工学研究科 知能システム工学専攻 博士前期課程1年の村井翔太さんは「10月の練習試合に向けて、2体で強い連携プレーを見せたい」と話し、次は相手の動きに反応し、チームメイトと連携した試合ができるようにプログラムすることが目標です。



赤のロボットが福井大学、黄色のロボットが愛知県立大学



「学生異文化交流賞」を受賞

教育地域科学部
学校教育課程4年
近藤美実歩さん

教育地域科学部※学校教育課程4年の近藤さんは、1年次に外務省主催の「KAKEHASHIプロジェクト」で米国へ2週間短期留学して、日本文化を魅力に感じている人がいることを知りました。日本の文化や風習を広めたいと思い強くし、2016年8月から2017年5月まで、今度は、交換留学生として米国フィンドレー大学へ留学しました。

現地では、大学内外のイベントやボランティアにも積極的に参加し、書道、折り紙、竹とんぼなど日本の遊びや文化を伝えました。小学校や高校の授業に参加して、浴衣を着て茶道のお点前の実演をすることもありました。

中でも、着付け体験やヨーヨー釣り、日本食などの様々な日本文化を大々的に広める学内イベント「Japan Festival」では、学生スタッフのリーダーとして、職員と共働して企画運営を行いました。本学でも語学

センターの学生スタッフとしてイベント企画に携わっていた近藤さんは、その経験を活かし、ポスターのデザインや司会進行などを担当しました。そして、毎年3月に開催され、約20カ国の屋台が並ぶ大規模な大学祭「International Night」で日本人学生のリーダーとして日本ブースを企画し、在学生や地域の方々1500名をもてなしました。

そのような近藤さんの活動がフィンドレー大学に認められ、異文化交流活動でもっとも功績を挙げた留学生に送られる「Outstanding Undergraduate Intercultural Student Service Leader Award」を受賞しました。

近藤さんは「留学前はスピーキングに不安を感じていましたが、逆にそのことがいろんなイベントに参加するきっかけになりました。経験が先に来て、言語は後からついてきます。留学を考えていない学生にも私の経験を伝え、世界に目を向けてもらいたい」と話してくれました。

「International Night」
日本ブースの前で

※教育地域科学部は平成28年度に教育学部、国際地域学部に変更しましたが、平成27年以前に教育地域科学部に入学した学生は現在も旧学部にも所属しています。

学内には体育系・文化系あわせて120近くの部・サークルがあり、福大生の半数以上が所属しています。
超有名な!? サークルから意外と知られていないサークルまで、さまざまな部・サークルをご紹介します!

●『IT'S MY CIRCLE』に登場したいサークルのみなさんは広報室までご連絡ください。E-mail: sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

文京

航空部

フライトで
人生観が変わるかも!



飛んでみないとわからない爽快感!

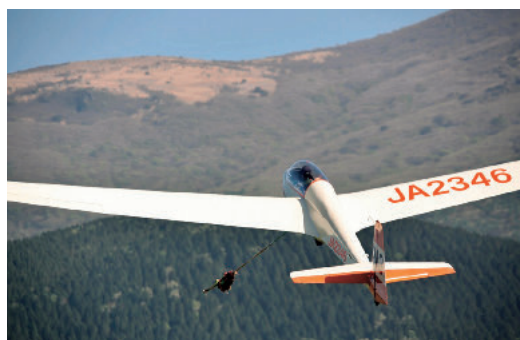
グライダーという動力機ではない飛行機を用いて空を飛ぶ「航空部」です。メンバーのほとんどが初心者で「空を飛ぶってなんだろう?」と好奇心を持って入部しています。

グライダーには、プロペラ機にけん引してもらって上空600メートルで切り離して飛行する方法と、ロープをグライダーにつけ、停車しているトラックの荷台にあるロープリールで調整しながら、風揚げのようにグライダーが風を受け、上空300メートルで切り離し、飛行する2つの方法があります。

グライダーの操縦には免許が必要で、フライト数を重ねたり、天候を見極めたり、航空力学を学習することが必要です。「空を飛ぶ」ということが、はたから見ると危険に思えるかもしれませんが、原理を理解し、事故を防ぐための訓練を積み重ねれば大丈夫です。

飛行機よりもグライダーの方が機体が小さいので、飛んでいる感覚は、自分の手足のように感じます。最初のフライトは誰でも緊張するもの。上空に上がってみると意外と機体が揺れることは少なく、想像していたよりも怖いという感覚はない人が多いです。上空からの眺めや、飛んでいることの高揚感にあふれます。その後は、みんなクセになって、飛び続けるという不思議。

「今までやったことのないことに挑戦したい人や、ぼんやり空を眺めるのが好きな人には絶好のスポーツです。飛んでみないとわからない、この爽快感!ぜひ、一緒に体感しましょう!」と部長の三浦さん。フライトで人生観が変わった人もいますよ!



大空のフライトは最高!



少人数で仲良くやっています



部員
募集中!

メンバーのほとんどが初心者です。
ぜひ、空を飛びましょう!
他大学とBBQも楽しいよ!

部長 三浦悠真さん

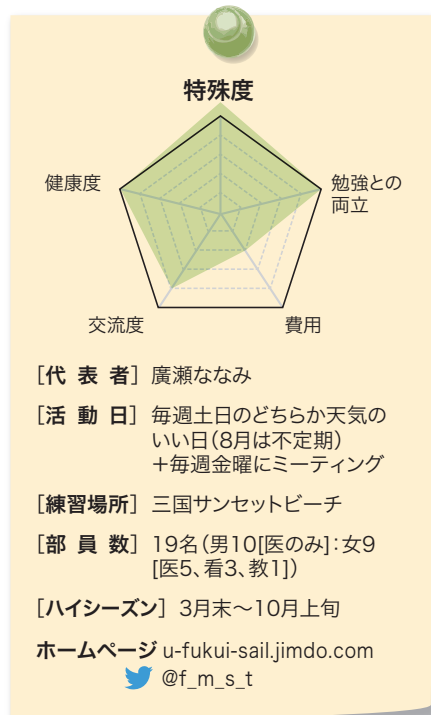




松岡

ヨット部

夏と海が好きな人は
ぜひ来てね!



美しい海と風、自然と対話するスポーツ

今年で創部27年目を迎えたヨット部。現在は部員19名で活動しています。練習はもっぱら週末のみ。部員の多くは他の部活動もかけもちする“ダブルサークル族”です。

ヨットは大学が所有しており、全部で8艇。セール(帆)が1つしかないシンプルな1人乗りの「ホッパー」と、2つのセールを持つ2人乗りの「470(ヨンナマル)」がそれぞれ2艇、3つのセールの「スナイプ」が3艇、救助艇が1艇。これらのヨットは、三国のサンセットビーチにある「艇庫」に格納しています。海でヨットを操縦する練習と、松岡キャンパスでの「陸練」があります。

皆さんの中で、ヨットの経験がある人は多分いないのではないのでしょうか。部員も全員そうでした。海に出て一歩間違えば命の危険が伴うスポーツだから、まずは陸練、それも座学から始めます。①ヨットが動く原理を座学でしっかり学び、②陸上で操縦方法(これが難しい!)をみっちりシミュレーション、そしてようやく③海に出る。この3段階でやっています。

ヨットは自然の風をキャッチし進む、とてもシンプルな乗り物。セールを上手に操ることで、逆風でも前進できます。風や潮流の状態を観察しながら、舵と帆だけで大自然に立ち向かっていくところに、その面白さがあります。風を上手く捉えたときのスピード感や、沖に出たときの海のキラキラの爽快感など、一度やったらやみつきになるかも。試合もあって、18大学が参加する西日本医科学生総合体育大会に参加するのが恒例行事。何とか上位入賞できるよう頑張っています。

ヨットってお金がかかりそうだけど、大学からの補助もあります。冬場は陸練の合間をぬってスキーに行ったり、夏場はBBQや流しそうめんを楽しんだりしてます。「怪我なく楽しく安全に」がモットー。ぜひ一度、見に来てくださいね!!



部活の合間に楽しく流しそうめん!(艇庫にて)

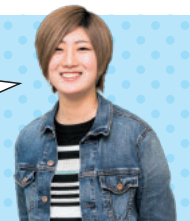


練習風景。風が最高に気持ちいい

部員
募集中!

ヨットに乗れる機会はなかなかありません。
楽しく海を、風を感じませんか!
もちろん、安全第一で!

部長 廣瀬ななみさん



未来設計ノート

MIRAI SEKKEI NOTE



就職か進学か、迷っている人も多いでしょう。どのように進路を決めたのか、先輩のアドバイスに耳を傾けてみませんか。今回は大学院進学の魅力について、大学院医学系研究科統合先進医学専攻に在籍中の本定千知さんにお話を聞きました。

OB・OGインタビュー

大学院医学系研究科
統合先進医学専攻先端応用医学コース博士課程4年

本定 千知 さん

(2010年医学部医学科卒業)

キャリアに合わせていつでも入学 修了後の診療の幅を広げる

2010年3月に福井大学医学部を卒業、同年4月から同附属病院で勤務、2年間の初期研修を経て、2012年4月から後期研修医として内科学(3)の呼吸器内科に入りました。大学院博士課程に入ったのは後期研修医2年目でした。

医学科の学びは6年間です。そのため、通常の4年制と比べると、大学卒業後のライフプランを考える年齢が少し上がります。仕事と研究の両立、結婚などの家庭生活、女性の場合はさらに出産や育児との両立も求められ、妊娠や育児のタイミングを考慮した上で大学院に進むケースが少なくありません。私自身、4年前に大学院に進んだ後、2人の子どもを妊娠・出産し、現在子育て中です。

臨床の現場では、幼い子どもがいると時間の制約があったり、妊娠中では携わることができない医療業務があったりして、不都合が生じる場合があります。さらに育休を長くとると、どうしても医療スキルが落ち、「置いていかれた感」を覚えてしまうのも事実です。しかし大学院なら育休を取りながら学べ、同時に基礎実験を行うことで研究スキルが身につきます。医師としての技量はキープしつつ、今後の診療の幅を広げるメリットがあるのです。とはいえ、仕事と研究、さらに家庭や育児を両立するのは決して楽なことではありません。だからこそ、やり遂げた時の達成感はひとしおで、頑張った証として自分のキャリアに自信をもたらしてくれるでしょう。

大学院修了後、研究によって得た多角的な視野から、これまでとは違った視点で医療に携われるのではないかと考えています。医学部の大学院はキャリアに合わせていつでも入学することができ、結婚・妊娠・出産を考えている女性には特におすすめです。



PROFILE

ほんじょう・ちさと

2010年福井大学医学部を卒業後、同年4月から初期研修医として同附属病院で勤務。2012年4月から呼吸器内科に勤務。福井市出身。

HOT NEWS

結核の免疫についての研究成果が海外の専門誌に掲載されました。



研究成果について、定 清直教授と記者発表
(今年4月)

1日の流れ

8:30	病院で担当患者(平均5人)を回診
10:00	研究
12:00	昼食
13:00	病院で気管支鏡検査
14:00	研究
16:00	病院で担当患者を回診
17:00~	研究
18:00	帰宅



大学院医学系研究科(博士課程)のすすめ



医師としてのレベルアップには、
大学院での深い学びが不可欠です



医学部教授 老木 成稔

「大学院は回り道。専門医資格をとって、すぐにバリバリ働きたい!」と思っている医学部生がほとんどでしょう。でもちょっと待ってください。6年間では医学の入口に立つだけです。医学の科学的事象を説明するための「言語」を身に付けるには、さらなる深い学びが必要です。本学では、臨床と研究を両立するためのサポート体制が充実しています。医師のキャリアのどこかで大学院に行くという選択を考えてみましょう。医師としての人生が確実に豊かになります。



6割の医学生が「視野が狭い」と感じているそうです(※)。大学院でいろいろな経験をし、視野を広げましょう。

※「医学生のキャリア意識に関する調査(2015)坂口一樹」より

学術研究院医学系部門
医学領域器官制御医学講座麻酔・蘇生学分野
松木悠佳 助教(医学博士)

松木先生が博士号を取得するまで + 院進学を考えるポイント

- 医学生**
- 1年** 東京女子医科大学医学部入学。大学院の存在を知ろう!
 - 2年** いろいろな研究室をのぞいて、臨床研究に興味を持ってみましょう。どの先生もウェルカムです。
 - 3年** 研究室配属があり、研究・実験の楽しさを知ることができます。ここで大学院進学を視野に入れることで、キャリアデザインしやすくなりますよ!
 - 4年** 実際に講義を受けると、興味が広がりますよ。
 - 5年** マラリア撲滅に成功した論文を読み、研究に興味を持つ。
海外に目を向けるといいですよ!
 - 6年** バヌアツのアネイチウム島でマラリア撲滅プログラムに参加し、研究の効果を実際に体験。



研修医 卒後臨床研修医として福大医学部附属病院で2年間勤務。
医師の仕事はどこでもできるし、情報格差はありません。生活・育児のしやすさで「福井」という選択もありですよ。

医員 同院の麻酔科蘇生科医としての2年間は、とにかく忙しく、患者さんの顔も覚えられませんでした。「これでいいのか」という思いから、違う視点で麻酔のメカニズムの研究をしようと思い、院への進学を決め、基礎医学教室で研究しました。

院への進学は思い立ったとき!



院生 勤務しながら大学院で研究を続け、博士号取得。途中、二度の出産も経験。イオンチャンネルの研究で論文が海外の専門誌「JACS」に掲載され、大学や学会から優秀論文賞をもらいました。

福井にしながら、世界に向けて研究を発信できます。



学生の
ギモン1

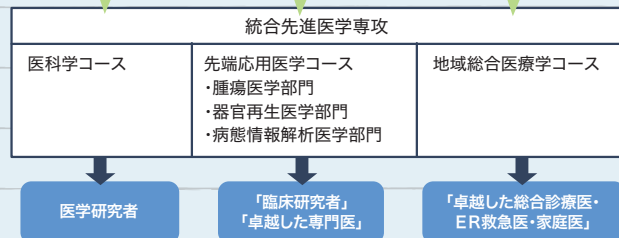
Q 大学院にはどんなコースがあるの?

A 大学院医学系研究科は、以下の3コースからなる統合先進医学専攻として組織されています。他学部の学生も進学でき、医学博士号の取得が可能です。

創造性に優れ、研究・開発能力を有し、自立して活躍する研究者の養成

卓越した研究能力と高度な専門的スキルを有する臨床医学研究者の養成

地域に貢献できる臨床研究や教育的指導力を備えた質の高い総合診療医・ER救急医・家庭医の養成



学生の
ギモン2

Q 大学院に入学するタイミングは?

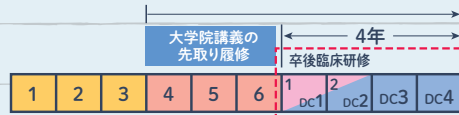
A 医師のキャリアの中で必ず必要とする時が来ます。その時に門をたたいてください。歓迎します。臨床の経験を積んだ医師も多く大学院に入っています。もちろん卒後すぐに入学することも可能です。

■通常の学年進行

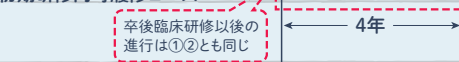


■早期取得をサポートする2つのコース

①科目早期履修コース



②初期研修同時履修コース



通常よりも
2年早い
博士号の
取得が可能

院生の声

米国で手術などの実績を積むためには、Ph.D.(博士号)が有利です。研究にあまり興味はありませんでしたが、基礎医学の研究はやり始めると面白いです。

大学院医学系研究科統合先進医学専攻
先端応用医学コース博士課程2年

矢野 啓太さん(心臓血管外科 医員)



学位取得を経て感じる
大学院のメリットは…



☆面白いこと、新しいことを体験できる!

☆考え方の枠ができ、基礎研究だけでなく臨床にも応用できる!

☆大学院での学び・経験は、医師としての幅を確実に広げてくれる!



福大ロマン



今昔のカタチ



今回は5月27日に文京Cで行われたホームカミングデーと、松岡Cでかつての福大生にインタビュー！
今と昔で異なる福井大学について知ることができるかも…！？



今回のホームカミングデーで再会された当時の学友。上段左から、小谷真執さん、川勝康弘さん、加藤桂子さん、竹内美智江さん、木村悦子さん。下段左から笠原茂子さん、高原信江さん。全員、昭和51年度教育学部卒、グリーンエコ合唱団に所属していました。

福 井大学の卒業生を大学に招待し、楽しんでもらう企画「ホームカミングデー in文京キャンパス」にて、OB・OGの皆さんに「昭和28年～52年のころの福井大学について」インタビューを実施しました！

当時は県外学生が非常に少なく、全体の1割にも満たなかったそうです。また、県外出身だと、地元の人から「なんで福井？」と言われたそうです。割合は増えていますが、言われることは今も一緒ですね(笑)

また、卒業生の中には学生運動を経験した方も。開講されなかった授業の補講などはなく、入学式や卒業式を行えない時期もあるなど、今では考えられないものでした。上の写真のように、当時の学部やサークルのメンバーが今回たまたま再会でき、このような会が行われるのは非常に嬉しいという声が多く寄せられました。来年もぜひ、参加してください！

取材にご協力いただいた卒業生の皆さま、ありがとうございました。



昭和20年ごろの家庭教師代は月8000円。授業料が年間3000円！！
今の学生のバイト代は月5万円、授業料は53万円ほど。昔なら自分で授業料が払えたのになあ。

Q 一番印象に残っている授業は何ですか？

A 心理学と哲学ですね。再履修していたので(笑)
今は憲法の授業が大変とのことですが、当時はそうでもなかった。



昭和51年度
教育学部卒
川勝 康弘さん



学生広報スタッフ
国)国際地域学科2年
藤堂 智江

Q 学生時代大変だったことは？

A 数学と養護教諭の免許の2つをとらないと留年になってしまい、今でもそのときの夢を見てしまうほどプレッシャーでした(笑)



学生広報スタッフ
工)物質・生命化学科2年
伊藤 凌哉



昭和51年度
教育学部卒
出店 三恵子さん

Q 90歳を前にしてやりたいことはありますか？

A 人さまに喜びを差し上げたい。これはどんなに年を取っていてもできることだから。



昭和27年度
工学部卒
川上 英男さん



★ OB・OGアンケート ★

ホームカミングデーでは、アンケートも実施し
思い出の○○について聞いてみました！

印象に残っている出来事

授業に加えて、昼休みに芝生のところに教授が来て、風呂敷を広げて坐り談笑したことがうれしく、印象に残っている。(S44、運輸・運送業)



よく行っていたお店

「サランドール」という喫茶店や「マルキパン」。(S52、教員)

長期休暇の過ごし方

ひたすらバイト！部活をする暇もなく、学費を稼ぐためにさまざまな職種のバイトを体験した。世の中を見聞するという意味でもよかったと今は思う。(S52、元小学校教員)

当時の学生生活

- 1年次に長期ストライキがあり、クラブと学生討論に参加したこと(S49、サービス)
- 雪降る中、Tシャツサンダル履きで闊歩する学生がいたこと(S51、教員)



所属していた部活・サークルなど

環境問題研究所(S52)、自動車部(S49、建設業)、エスポール部(S49、サービス)、山岳部(S33、会社員)

今の学生に伝えたいこと

- よく学び、よく遊べ！バランスが一番大切！(S52、元教員)
- 何事も継続すること！！(S52、研究職)

☆アンケートに御協力いただいたOB・OGの方、ありがとうございました☆

医学部 北井 隆平准教授に聞く

松岡キャンパス 80年代のリアル

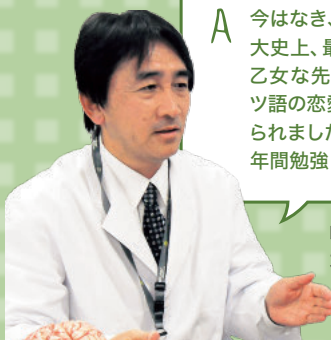
Q 私たちより、
先生の学生時代の方が
大変だと思うことは？

学生広報スタッフ
医)医学科3年 中川 元



A 今はなき、ドイツ語の厳しさ。福大史上、最も壮絶な講義でした。乙女な先生の出す課題文、ドイツ語の恋愛もの、カフカに苦しめられました。そんなドイツ語で4年間勉強した人も…。

医学部
北井 隆平准教授



Q 印象に残っている授業は？



A 当時、ウイルス学の権威であった京大の畑中正一先生の特別講演会。講演内容に感銘を受け、質問に行ったところ、「君はなかなか筋の良い質問をするね、これからは頑張りなさい」と褒められ、サイン付の著書をいただきました。

Q 当時の「医学生あるある」を教えてください！



A 今では信じられないが、講義の最中に、外科系の先生が突入してきて、「AB型の人、立ってください、血が足りないの」ということがありました。手術中に輸血が足りなくなったのでしょうか。「昔だから許された」ことを強調しておきます。



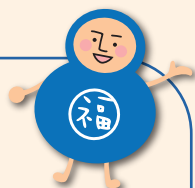
A 医大周辺には何も店がなかったので、夜になると、ラーメン屋台が出現。解剖実習等の後はラーメンをほぼ毎回食べていました。そこの客の半分以上は医大関係者。そこで交流を深めていました。



ブログも更新中！

学生広報スタッフがブログを随時更新中。ぜひ見てね！また、学生広報スタッフを募集しています。興味のある方はホームページまで。

ブログ
「うらら@ふくだい」



Surprise!



当時、スマホはおろか、携帯電話、ポケベルすらない時代。寮やシェアハウス(医大生5、6人であることが多かった)の固定電話で彼女と電話しなければならなかったため、交際関係が筒抜けだったそう。時は、2017年。通称医大村(大学周辺に住まう医学部生のアパート群)での学生の目撃情報や噂はSNSを通じて、秒速5人で伝わります。噂の速さは昔も今も変わらないようです。

地域の中に溶け込んで 医療に携わる喜びを知る

福井県高浜町国民健康保険
和田診療所所長

ほそかわ ち え こ
細川 知江子さん

2005年度
医学部医学科 卒業

名田庄診療所を見学し 地域医療の楽しさに出会う

高浜町にある「和田診療所（通称わだしん）」に赴任したのは2008年で、2011年から所長を務めています。

実は私、入学前から地域医療をやりたいかったです。小学校6年の時、1型糖尿病を発症しました。その時に両親が、治療と一生付き合っていかなければならないなら、医療の道に進んだ方が私のためになるのでは、と考えてくれました。このことがきっかけで、医師への道を選びました。

生まれは福井県ですが、父の仕事の都合で関西で育ちました。祖父母は福井にいて、両親とも福大出身です。子どもの頃からここが好きなのもあって、福井で働きたかったです。田舎好きなので、都会の大病院は嫌だったんですよね（笑）。

医学部5年の時、名田庄村（現おおい町）の名田庄診療所に1週間、泊まり込みで見学に行きました。この時、「地域医療はすごく楽しい！」とさらに思いを強くし、「こんな場所で医療と関われたらいいな」と考えるようになったのです。

運命的な出会いを経て 和田診療所で研修

初期研修医時代の2007年、「わだしん」で4カ月を過ごしました。現在



「わだしん」での研修医時代。寺澤秀一先生（本学・地域医療推進講座教授）と

「わだしん」で勤務しているのは、その時の経験がものすごく影響していると思います。

「わだしん」に研修に行く前、医学部の附属病院で和田出身の入院患者さんと出会いました。「地域医療がやりたくて来年、和田へ研修に行きます」と話すと、とても喜んでくれたんです。その後、私の研修開始とその方の退院時期が偶然重なり、その方と一緒に和田に来ました。まるでドラマのような運命を感じたものです。

実をいうと、この患者さんのお母さんのケアマネージャーをしていた男性と結婚したんです。私が師と仰ぐ寺澤秀一先生の持論「医者地域に残すには、その土地の人と結婚させるのが一番」という「愛染かつら作戦」にまんまとハマってしまったのです（笑）

仕事も家庭も両立する環境で 地域医療の醍醐味を味わう

こうした気風や土壌は、地域医療に最高の環境だと考えています。笑顔で仕事をしながら子育てできるのは、地域全体で応援してもらっているからにほかなりません。

大好きな場所で大好きな人とともに医療に携わることができ、それがやりがいにもつながって楽しい。そんな現場があることを医学部の後輩にはぜひ知ってほしいですね。仕事と家庭は、どちらかをある程度、我慢しなければ両立しないのが一般的だと思いますが、地域医療ではプライベートの経験を仕事に生かすことができます。人生を積み重ねることで仕事も充実していくのが醍醐味なんです。



学生時代は陸上部に所属。
投擲で西医体3位になったことも

「特別栄誉学友」並びに「栄誉学友」ご芳名一覧

「特別栄誉学友」

株式会社エイチアンドエフ 様
株式会社エクスタイル 様
セーレン株式会社 様
轟産業株式会社 様
福井キヤノン事務機株式会社 様
株式会社福井銀行 様
福井大学教育学部附属小学校 教育振興会 様
福井大学教育学部附属中学校 教育振興会 様
福井大学教育学部附属幼稚園 教育振興会 様
福井大学生活協同組合 様
前田 征利 様
盛岡 正男 様
吉野 壽郎 様

「栄誉学友」

石塚 保代 様
伊藤電機設備株式会社 様
井上 彪 様
加藤 幹夫 様
木村 温美 様
清川メッキ工業株式会社 様
ゲンキー株式会社 様
小林化工株式会社 様
サカイオーベックス株式会社 様
株式会社シャルマン 様
株式会社 SHINDO 様
株式会社高島鉄工所 様
日華化学株式会社 様
福井信用金庫 様
福井大学医学部後援会 様
福井大学医学部同窓会 白翁会 様
福井大学教育学部附属特別支援学校 教育振興会 様
福井大学工業会 様
福井鐵工株式会社 様
福井テレビジョン放送株式会社 様
福井鋸螺株式会社 様
福応会 様
フクビ化学工業株式会社 様
株式会社文教コーポレーション 様
株式会社ホクシン 様
株式会社松浦機械製作所 様
山田 登 様
吉田 實雄 様 (五十音順)

※この称号は、福井大学の学生の修学支援のために、高額なご寄附を頂いた方々に贈呈させて頂いております。

福井大学基金

学生の皆さんへの修学支援のため、
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

福井大学基金の寄附状況 寄附申込数 2,168件(延べ数) / 寄附申込額 1億5,137万4,023円

(平成29年2月23日から平成29年5月31日までの寄附者ご芳名(五十音順))

個人

青谷 懿 様
青山 庸 様
赤松 善弘 様
朝倉 俊行 様
飯澤 萌 様
飯塚 徳子 様
石田 定 様
伊東 俊廣 様
井上 彪 様
上坂 忍 様
牛若 清 様
扇谷 泰朝 様
大北 稔 様
大崎 寔義 様
大崎 辰己 様
太田 好治 様
大谷 昌弘 様
大塚 昭 様
大場 和子 様
大橋 健一 様
樋 廣美 様
笠松 佳晃 様

片山喜代治 様
加藤 圭二 様
加藤 丈尚 様
加藤 正弘 様
加藤 幹夫 様
河合 克昌 様
川栄 昭中 様
川上 英男 様
岸野 麻衣 様
北 晋介 様
北島 弘治 様
木村 優 様
口野 哲夫 様
國定 佑衣 様
窪田 桂子 様
倉見 昇一 様
小島 啓市 様
小辻 將道 様
小林 哲雄 様
小林 満只 様
坂田 知子 様
笹木 俊男 様
嶋川 敏夫 様
清水 昭子 様

神藤 洋爾 様
高垣 行雄 様
高田 幸穂 様
高田 吉昭 様
高橋 智子 様
高橋 久和 様
滝 民恵 様
竹浦 武司 様
立川 敏明 様
田中 邦夫 様
谷村 謙夫 様
遠山武羅夫 様
戸崎 道子 様
直井 常雄 様
永井 崇司 様
永井 暉久 様
中崎 良平 様
中川美津恵 様
中島 良成 様
中田久美子 様
永田 佑輔 様
永谷 彰啓 様
長谷美左子 様
中津川英則 様

長野 羊 様
長濱 豊 様
中村 寿彦 様
中村 進一 様
中村 勇人 様
中山 博之 様
並河 宏明 様
西 康雄 様
西出 俊亮 様
野口つぎ代 様
野坂 智裕 様
野村 和則 様
野村 久夫 様
濱田 明雄 様
浜田 勝博 様
半原 芳子 様
廣部 圭一 様
廣光清次郎 様
福嶋 信次 様
藤原 肇 様
前田 典彦 様
増田 美那 様
松井富美恵 様
松木 健一 様

松原 信之 様
真鍋 豊 様
水野 幸郎 様
嶺山 秀明 様
三村 友男 様
宮井 昭信 様
宮井 三郎 様
宮澤 実里 様
森 透 様
矢尾 克彦 様
安木 臈二 様
柳澤 昌一 様
柳本 成一 様
矢部 清隆 様
山内 善正 様
山川 幹生 様
山川 米吉 様
山本 昭 様
山岸 靖夫 様
山口 秀尚 様
山崎久美子 様
結川 健一 様
横山 知幸 様
吉田 収三 様

吉光 克弘 様
渡邊 恵介 様
渡辺 崇嗣 様
渡邊 裕子 様
ほか 匿名希望の方 25名

法人・団体

株式会社角文 様
医療法人喜康会 様
サンマテリアル株式会社 様
株式会社住みかえ情報館 様
セーレン株式会社 様
セコム北陸株式会社 様
福井統括支社 様
東工シャッター株式会社 様
福井コンピュータ 様
ホールディングス株式会社 様
株式会社増田喜 様

福井大学基金の詳細については、
福井大学HPをご覧ください。

<http://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>



福井大学基金についてのお問い合わせ先

福井大学基金事務局 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1
TEL 0776-27-9903(ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518
E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

ご寄附頂いた方々への 「栄誉学友称号贈呈式」並びに「感謝の集い」を開催しました

6月22日、福井大学基金や大学等へ的高額寄附者の方々(個人・企業・団体)に、「特別栄誉学友」並びに「栄誉学友」の称号を贈呈させていただきました。※称号贈呈者のご芳名は23ページに掲載

引き続き、福井大学基金へ一定額以上のご寄附をいただいた方々をお招きした「感謝の集い」を開催し、寄附者の皆様と、基金からの支援を受けた本学学生との懇談を行い、学生から感謝のメッセージが述べられました。



栄誉学友称号贈呈式並びに感謝の集いにご出席の方々



栄誉学友称号贈呈式



寄附者の皆様と学生との懇談

【お問い合わせ先】 福井大学基金事務局 TEL:0776-27-9903 E-mail:kikin@ad.u-fukui.ac.jp

福井大学基金

検索

学生広報スタッフ 募集中!

学生広報スタッフを募集しています。福井大学生なら誰でもOK! 広報誌の編集、ブログの作成に興味のある人、大歓迎です。希望する人は気軽に連絡してください。一緒に楽しく福井大学の魅力を発見して広めていきましょう。

ブログ
「うらら@ふくだい」
更新中



待つてるよっ



福井大学広報室 Tel/0776-27-9733

E-mail/sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

↓応募はこちらから



【メールへの明記事項】

タイトル: 広報スタッフ応募

内容: 氏名、学部(研究科)学科(専攻)、
学年、住所、携帯電話、E-mail、応募動機

※ご記入いただいた個人情報は学生広報スタッフの活動にのみ使用いたします。

本冊子の感想を教えてください

広報誌「ふくだいプレス30号」を読んだ皆さんの感想を教えてください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で10名に「GEARTIE」をプレゼントします。



(実物とは異なる場合があります)

プレゼント

万能型
結束バンド



【応募方法】

QRコードもしくはURLからご応募ください。
応募締め切り:8月31日(木)

<https://eoffice.ad.u-fukui.ac.jp/limesurvey/index.php/668959/lang-ja>

みなさまからのご応募、お待ちしております!

ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの送付、及びお問い合わせ・ご意見をいただいた際のご連絡に使用させていただきます。